

学校名	小清水小学校	校長名	可 児 隆 洋	提出日	令和2年2月6日
小清水町学校運営協議会					

1 本年度の重点目標

～「授業改善」と「業務改善」を好循環させることで「学校改善」を図る～

2 本年度の経営方針

重点目標1 授業改善

- 「新学習指導要領」や「一貫教育の基本方針」を意識した授業改善
- 教育課程の「評価と改善のサイクル」の効果的な運用
- 日常的な中学校との情報交換

重点目標2 業務改善

- 同僚性・協働性の発揮(低中高ブロック担任、通級指導教員、習熟度別指導教員、専科)
- 「評価・評定」「調査・アンケート」の見直しと「校務の情報化」
- 全教職員の学校運営参画(経緯や将来を見て、本質・目的から外れず、多面的な視点を持って)

3 評価方法

中学校の自己評価をもとに、学校運営協議会が評価を行う。

4 自己評価に対する学校運営協議会

No.	自 己 評 価 結 果				学 校 運 営 協 議 会			
	大項目	評価項目		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の取組の適切さ
小 項 目								
1	社会の変化に対応する教育の充実	①	義務教育9年間を見通した確かな学力の育成	B	B	・授業改善推進チームの活用 ・教員の意識向上	A	B
		②	特別支援教育（特別支援学級・通級指導教室・支援部）の充実	C	B	・中学校との連携 ・研修による職能向上		
		③	外国語・外国語活動の推進	C	C	・小学生教員の授業参画と研修の必要性		
		④	総合的な学習の時間（地域・情報・福祉・人権・環境等）の再編	B	B	・中学校との学習内容の接続 ・活動の目的の確認		
		⑤	情報活用能力の育成（基本的な情報機器の操作・適切な情報活用の学習活動・情報モラル）	B	A	・情報教育の充実 ・プログラミング教育の準備		
		⑥	教育活動全体を通じたキャリア意識の形成	B	B	・活動の目的 ・横断的な教育課程編成		
		⑦	環境教育の充実	A	A	・横断的な教育課程編成		
学校運営協議会委員の意見等		適切に評価されている、評価は実態より低い傾向があるが自己評価を尊重する。						
2	豊かな心と人間性を生む教育の推進	①	学級・学年・ブロック経営を充実させる	B	A	・目的の明確化	A	B
		②	成長につながる特別活動	B	A	・生徒会と児童会の交流機会の工夫		
		③	道徳教育の充実	B	C	・教科化の現状にあった評価項目が必要		
		④	読書意欲を高める活動	A	A	・読解力の向上につなげたい		
		⑤	組織的な対応によるいじめ・問題行動の解消	C	B	・いじめ根絶にはなっていない		
		⑥	安全教育の推進	A	A	・不測の事態にそなえて点検をする。		
学校運営協議会委員の意見等		適切に評価されている、評価は実態より低い傾向があるが自己評価を尊重する。 特にいじめについては、引き続き根絶をめざして取り組んでいただきたい。						

No.	自 己 評 価 結 果					学 校 運 営 協 議 会		
	大項目	評価項目		達成 状況	取組 の適 切さ	改善の方策	自己評価 の適切さ	改善の取組 の適切さ
小項目								
3	心身の健やかな成長を促す教育の推進	①	体力・運動能力の向上	B	B	・PDCAの確立	A	A
		②	食育	B	A	・教育課程編成 ・家庭との連携		
		③	安全指導・健康教育	A	A	・中学校の薬物乱用防止教室への参加		
学校運営協議会委員の意見等		体力向上にむけて引き続き取り組んでもらいたい。						
4	学びを支える家庭や地域との連携・協働の推進	①	家庭との連携の促進	B	A	・家庭教育の充実	A	A
		②	地域の特色や教育力を活かした学校づくりの推進(学校運営協議会の推進)	B	A	・土曜授業の活用		
学校運営協議会委員の意見等								
5	学びをつなぐ学校づくりの実現	①	学校段階間の連携・接続の推進	B	B	・取り組みの目的の理解	A	A
		②	人材育成	B	A	・学校参画意識 ・報告連絡相談		
		③	教師の姿勢	A	A	・子どもに求める事は教師も実践する		
		④	教育環境整備	A	A	・個人情報管理 ・データ管理		
学校運営協議会委員の意見等								

学校運営協議会委員の総合的な意見	取り組みのさらなる充実と向上にむけて期待をしたい。	総合評価	4
------------------	---------------------------	------	---

※総合評定 5(極めて優れている) 4(非常に良い) 3(良い) 2(課題がある) 1(改善が必要)